

発行
福井県大野市天神町1番1号
大野市役所
電話(代) 6-1111
郵便番号 912
印刷 松浦印刷所



7月の人口の動き

出生	男 26	女 22	計 48
死亡	男 27	女 14	計 41
転入	男 47	女 39	計 86
転出	男 53	女 50	計 103
世帯数	10,040(前月+2)		
人口	42,754(前月-10)		
男	20,472		
女	22,282		

お年寄りしあわせを

敬愛の心と物資の両面で

九月十五日は敬老の日、長年にわたり社会につくしてきた老人を敬愛し長寿を祝う国民の祝日として、昭和四十一年に制定されました。全国ではこの日を中心に敬老会などお年寄りを励まし慰さめる行事がもたれます。しかし、これらの行事にも参加できず病床でひとりさびしく余生を送られている方もあります。老人人口はふえる傾向にあり、恵まれない環境の老人もふえることが予想されますので、総合的な老人対策が社会的課題として強く望まれています。今月は老人問題とその対策にスポットをあててみましょう。



8月3日、ひとあし先が開かれた富田地区敬老会

ふえる老年人口

ひと口に老人といっても、社会の第一線で活躍されている人から自分で自分の用がたせない人までさまざまですが、普通65歳以上の人をさします。老人人口は全国的に増加の傾向を示しています。昨年10月に実施された国勢調査の速報(1%抽出集計)では、65歳以上の老年人口は734万人で、総人口の7.1%を占め、前回の40年に比べると、150万人(18.7%)の増加となっています。

大野市の状況を住民基本台帳で調べますと、7月1日現在で65歳以上の人、男1,972人、女2,519人、計4,491人で、市人口の10.5%を占め、国平均を3.4%上回ります。また、一世帯の構成人員は、全国平均3.7人(1%抽出集計)、市平均4.2人(45年国調)で、夫婦と子どもだけ

のいわゆる核家族化の傾向に進んでおりともに老人問題を考える基本的な問題です。

病気にかかる率は

青壮年の4~5倍

年を重ねるにつれて体力が衰え、どうしても病気にかかりやすくなります。全国平均の統計では、65歳以上ではその17%前後の人が病気にかかっており、これは青壮年の4~5倍にあたります。しかし医者にかかっている人は、その約半数しかなくこれまた大きな問題といえます。このほか、戦後の家族制度の移り変わり、個々の経済的条件など、社会の進展が激しい時代だけに、社会の風を冷たく感じられることも少なくはないようです。

社会の責任と老人の役割

老人福祉法の基本的理念に (1)老人は多年にわたり、社会の進展に寄与してきた者として敬愛され、かつ健全で安らかな生活を保障されるものとする。(2)老

人は老齢に伴って生ずる心身の変化を自覚して常に心身の健康を保持し、その知識と経験を社会に役立たせるよう努めるものとする。と、社会的な責任と老人としての役割をうたっています。

この基本にそって、老人福祉のいろいろな制度や施策が、国・県・市の立場でとられています。次にそのいくつかを紹介して、みなさん方の理解と利用を望みたいと思います。

家庭奉仕員が

ねたきり老人のお世話を

民生委員さんの調査によりますと、市内にはねたき

りの老人が209人おられ、そのうちひとり身が61人、夫婦だけが36人います。これらの人のうち、日常生活に人手を必要とし、家族以外の人に世話をされていたり、家族の人も病気で世話ができない家庭には、家庭奉仕員が少なくとも週1回訪問し、家事や身の回りの世話をしたり生活などの相談を受けています。

本年度から2人の奉仕員がお世話をしています。

特殊寝台を貸与

普通の寝具で、ねたきりのままですとどうしても不衛生になりがちです。長く病床についている人には、特殊寝台を無料でお貸ししています。

このほか、毎年20人前後の人に寝具をおあげし、早く回復されるよう励ましています。

【2面へ続く】

8月に交通事故非常事態宣言

死亡事故は去年の3倍

今 後 も 細 心 の 注 意 を

大野署管内の交通事故による死者は、夏にはいつて続出し、事態を重くみた市交通対策協議会は8月6日、交通事故非常事態宣言をし、その後、事故防止運動を強力に進めてきました。この結果、死亡事故は一時ストップしましたが、事故はその後もうえ続けており、引き続き細心の注意が必要です。

83%が人身事故

8月20日現在の大野署管内での交通事故による死者は、3月までゼロ、4月2人、5・6月各1人、7月3人、8月2人で、合計9人。昨年同期は3人でしたから、

3倍のふえようです。ことに7月21日から8月20日までの「夏の交通安全運動」期間中に、人身事故29件、物損事故3件、死者4人、傷者40人という最悪の記録になりました。

老人にしあわせを

【1面から続く】

毎年健康診査を実施

病気は早く見つけ、軽いうちになおすのが一番です。このため65歳以上の人を対象に毎年老人健康診査を無料で行なっています。しかし、これまでの受診率は平均18%程度で非常に悪く、もっと進んで診査を受けられるよう望んでいます。

白内障（眼病）の手術費を支給

老人性白内障という眼病がありますが開眼手術が可能な人には、この手術に必要な経費のうち、本人負担額を補助しています。

老人クラブの活動を援助

老人クラブは市内に45あって、3,139人が加入しています。どのクラブも活発に公共施設の奉仕作業や教養を高めるための研修会をもたれ、住みよい地域社会づくりに一役かわれています。クラブ活動は孤独感の解放の場として、また社交の場として有意義です。会員は、おおむね60歳以上の人を対象としていますので、積極的な加入をおすすめします。市は活動助成費として81万円おあげしています

激励と慰安の行事も

長寿をお祝いし、激励と慰安を兼ねた行事を行なっています。各地区の区長会や婦人会のご協力を得て、毎年75歳以上の人を招待する敬老会は、楽しみの一つとして好評です。また、米寿を迎えられる人や95歳以上の特別高齢者を市長が訪問お祝い状と記念品をお贈りしています。

こうした老人福祉のための市の予算は総額で2,303万円になります。この中に

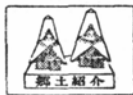
は養護老人ホーム和光園、特別養護老人ホーム聖和園の入園者の措置費も含まれています。

窓口は福祉事務所

老人問題、老人福祉対策の仕事は、市では福祉事務所が受けもっています。おたずねになりたいこと、ご要望は遠慮なくお申し出ください。

老人医療の無料化に努力

病気になったら気軽に医師にみてもらえるよう、老人医療費の無料化に努力しています。これは国民健康保険・社会保険の保険者負担分を差引いた本人負担分を市費で支払い、無料にしようとするものです。いまのところ財政面の制約もあって実現が遅れていますが、できるだけ早く実現させる予定です。



32

備荒倉の額

江戸時代にはたびたび凶作があったのでこれに備えるため、各村に穀物倉をたてて凶作食を貯蔵しました。その倉を備荒倉といいます。

萩ヶ野の飯岡彦兵衛氏所蔵のこの額は、縦150cm、横320cm、厚さ6.5cm、重さ80kgもあるケヤキの一枚板で、備荒倉の三文字が浮き彫りされています。

今から約120年前、嘉永年間、飯岡家の先祖は花房区の尾龍に築堤して水利を治め、勝山藩主小笠原長守公から賞せられました。その返礼として土

まず、死亡事故の特徴として、その半数以上が県外の運転手により起こされていることから、8日から20日まで市外を結ぶ交通要所、①国道158号線の乾側駐在所、②国道157号線の蕨生の2カ所に、交通監視所を設け、朝7時から夕方7時まで4交替で監視に立ち、車をとめて安全運転を呼びかけました。いま一つの特徴は人身事故が多いことです。

事故件数に対する人身事故の割合は、44年＝64.0%、45年＝66.8%、46年＝82.7%（8月20日現在）と年々ふえています。

歩行者にも責任

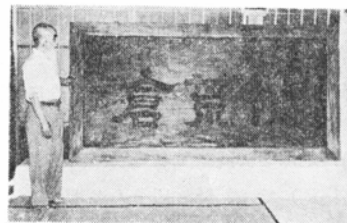
全国では8月21日、交通事故による死者は、ついに1万人を突破し、日本人の平均寿命に影響を与えるところまできています。

事故原因のほとんどは運転者・歩行者の安全に対する自覚不足によるものといわれています。

運転者がわの、運転未熟、注意不足、過労運転、ルール違反などはもとより歩行者、自転車がわの無謀も目立ちます。歩行者の左側通行、飛び出しや、自転車の一時停止違反、合図なしでの左折・右折、横隊になっての進行などがそうです。

この種の事故は対車両の事故よりも直接打撃を受けるだけに被害も大きくなります。

「もしあのときこうしていたら……」では時すでに遅し。事故者当人はもとより家族の苦悩を考え、事故撲滅に心がけましょう。



蔵一むねを献じて備荒倉とし、この額を掲げたものです。

備荒もみをはかった量り場や、お倉屋敷とよばれる所も残っています。額の文字はもと白く塗ってあったが、洗ったため色がはげたそうです。昭和33年7月、市の有形文化財に指定されました。

(写真は市の有形文化財備荒倉の額)

盛況さ増す城まつり

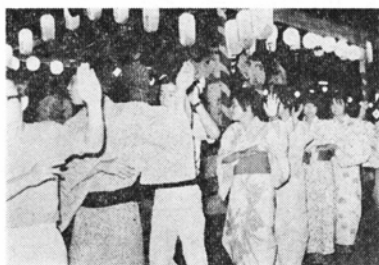
踊り大会には1万余の出入

8月15・16日が恒例となった「おおの城まつり」は、ことしも待ちかねた市民と帰省のみなさんで大にぎわいを見せました。城まつりもことしで4回を数え、区長会・婦人会・商店街・関係の団体と民間会社など市民あげての祭りとして年々盛況さを増しています。そのうえ郷土の踊りと奥越太鼓がふんだんに取り入れられ、大野独特の伝統を築きつつあることも喜ばしいことです。

特に大行列を中心にしたパレード、古くから伝わるシッコイナ節の復活をはじめ、大野音頭、御前踊りでまとめた郷土民謡の納涼踊り大会は、まつりの中心の行事として定着してきています。

踊り大会には15・16の両日で、延べ1万2,000の出入があったものとみています。

8月24日の反省会でも、踊り大会の会



好評だった納涼踊り大会

場である六間通りの本町～三番間を、将来は五番通りまで延ばしたら、という意見も出されました。

このほか、各種の団体や民間会社の協賛行事もまつりを一層盛り上げるものとして、高く評価されています。

市の象徴であり、まつりの象徴である越前大野城では、美術工芸品と原始土器の展覧会が開かれ15日に1,740人、16日に976人、両日で2,716人が詰めかけました。

陽明中の新築工事始まる

第1期工事は来春完成

4月1日に統合中学校として発足した陽明中学校の新築工事が始まりました。

建設地は中荒井3の22で、同中学校下庄教場グラウンドの南側です。

8月20日には、市長・議長・教育委員工事関係者ら30人が出席し、現地で起工式が行なわれ、工事の無事、安全を祈りました。

校舎の建設は、3カ年計画で進め、46年度で普通教室、47年度で特別教室、48年度には体育館を建てます。建設費は約3億2,000万円を見込んでいます。

こんどの着工はその第1期工事で、鉄筋コンクリート3階建て、延べ面積2,446㎡の普通校舎一むねです。この校舎には、普通教室19室、特殊学級教室2室が

できます。工費は本体に9,500万円、電気工事に735万円、計1億235万円。

8月2日に着工、すでに基礎工事を行っており、第1期工事の完成は来年5月末の予定です。

工事請負契約を議決

8月17日に開かれた第127回臨時市議会で、市が嶺北産業株式会社との間に、9,500万円で陽明中学校新設工事の請負契約を結ぶことについて、議決を得ました。

達成率は75%

米の生産調整

ことしの米の生産調整の実績が、7月末にまとまりました。すでに生産調整奨励補助金のうち平均59.5%が、概算払金として農協を通じ各農家の口座に振り込まれています。

今春、県から示された大野市の調整目標面積636.2haに対して、実績(補助対象)面積は479.7haで、目標面積に対す

る達成率は約75%です。実際に休耕したり転作をした調整面積は562.6haで実績を上回りますが、44年の作付面積を基準にしていますので、44年に米をつくらなかった分の面積はことし調整しても、補助金の対象面積には算入されません。この面積は82.92haになります。

大野市の補助金の総額は1億7,130万8,518円になり、このうち概算払金は1億195万2,689円です。

“芸術の秋、に力作を

文化祭の作品募集

第5回大野市総合文化祭は、「創造への参加」をテーマに、10月31日から11月3日までの4日間、市民会館を主会場として盛大に開かれます。文化祭実行委員会では、次のように作品の出品、舞台出演を広く求めています。芸術の秋を迎え、いまのうちに準備してあなたの力作をぜひお寄せください。

☆…作品出品規定

- 1、部門 ①絵画・造形 ②工芸 ③書道 ④デザイン ⑤写真など。作品はことし創作したもので未発表のものであること。
- 2、出品点数 ひとり1部門2点以内。
- 3、大きさ ①絵画・写真は2×2m以内、②彫塑は1×1×1m以内 ③書道は1.8×1.8m以内、④デザインはB全版パネル張り。
- 4、作品の搬入搬出 搬入は10月29日と30日とし、29日は午後5時まで、30日は正午までに市民会館へ。搬出は終了後。それぞれ出品者が行なうこと。
- 5、その他 出品料は不要、審査はしない。作品の破損については主催者側で責任を負いかねますのでご了承を。

☆…舞台種目

- 1、部門 ①演劇 ②音楽(歌・演奏) ③郷土芸能など。
- 2、申込締切 9月20日。
- 3、申込先 市教育委員会社会教育課。

スマイル

「円切り上げ」

エーンじゃ エーンじゃ
なんたエーンじゃ

とはいくまいて

——大野シャンソン

コーナ

土地利用は事前協議を 三番線、施行認可を受ける

このほど知事から都市計画道路三番線の事業施行の認可があり、市では年内に着工するよう準備を進めています。この事業区域内では土地利用についてのいろいろな規制があり、次のような場合は許可や届出などが必要です。

こうした土地利用については事前に都市計画課へご協議ください。

1、知事の許可がいるもの

①事業施行の障害となる土地の形質変更 ②建築物・工作物の新築、改築 ③移動が容易でない物件の設置 ④大量のたい積をする場合

2、土地や建物を売買しようとするとき

は、次の事項を市に届出しなければなりません。

①売買しようとする土地・建物の予定対価 ②売買しようとする相手方の住所氏名

3、土地の買い取りを市長に申し請求することができます。

〈大野市公告第21号〉

三番線事業施行に関する関係図書を次のように縦覧しています。

①場所 市役所都市計画課

②事業の施行区域 大野45字1の甲(起点)～大野111字4の3(終点)の区間

③事業の施行期間 昭和46～50年度

お知らせ

■…ごそんじですか、「国税不服審判所」

国税不服審判所は、税務署や国税局とは別の立場で、納税者の権利を擁護する機関です。

もしあなたが、国税の決定や更正に対して不満がありましたら、通知を受けた日から2ヵ月以内にまず税務署へ異議の申し立てをしてください。

異議申し立てに対する決定を受けそれでもまだ不満がある人は、1ヵ月以内に国税不服審判所長あてに審査請求をしてください。

青色申告をしている人は、異議申し立てをしないで直接審判所に審査の請求ができます。この請求書はどんな様式でも

かまいませんが、税務署にある用紙を使われると便利です。手続きの費用は無料です。

提出先は、金沢市広坂2-2-60、金沢合同庁舎内の金沢国税不服審判所。

■…発電所修理で毎秒40トンの水を放流

北陸電力K・K大野電力所は壁倉発電所の水車を修理するため、9月1日から30日までの1ヵ月間、最大毎秒40トンの水を九頭竜川に放流します。増水して危険ですからじゅうぶん注意してください

放流箇所は、阪谷橋下流約200mの壁倉発電所サイフォン余水吐(松原出地籍)と同発電所の水そう余水吐(壁倉地籍)の2カ所で、毎日午前7時ごろから午後9時ごろまで放流します。放流を始める10分前には、この2カ所でサイレンを鳴らし

ますが、警報車による警告はありません。上流の仏原ダム、富田ダムから放流するときは、これまでどおり、サイレンと警報車による警報がだされます。

■…身障者の自動車運転講習会

県は、身体障害者のうち自動車運転技術の取得を希望する18歳以上の方を対象に、自動車運転技術講習会を開きます。

県内を6会場に分けて開く計画で、大野市は11月16日から12月31日まで、大野自動車学校で特殊改造車を使って実施する予定です。

昼間30時間の実技教習を受けるものとし、講習料は30時間以内3万円です。

希望者は早めに市の福祉事務所へ申し込んでください。

■…雇用促進融資の募集

雇用促進事業団では、90億円の貸付わけで昭和46年度の第2次募集を行なっています。この融資は、職業安定所の紹介で、定められた数以上の労働者を雇い入れる事業主または事業主の団体に、労働者住宅、福利厚生施設などをつくるための資金を長期で低利に融資して、雇用の促進と労働者の福祉増進を図ろうとする制度です。

①受付期間 9月1日～10月20日。

②対象となる施設 社宅・寄宿舎などの労働者住宅、浴場・体育施設、食堂・炊事場、集会室・図書室、託児所、売店などの福祉施設、職業訓練をする教室・実習場および機械などの訓練施設、その他

③貸付金の額 中小事業主には標準建設費の90%以内。

④利 率 中小企業は年6.5%。

⑤償還期間 種類によって5～30年以内
お問い合わせは商工観光課へ。



ある若者が母の危篤を知って急いで故郷へ旅立った。野を越え山を越え何百里を徒歩のひとり旅。途中多くの困難に遭遇してようやくめざす国境の川の岸に立った。しかし数日前からの大雨にただ一つの橋は流失してどうしようもない。だが一刻を争うときである。意を決して衣服を頭、いまや濁流に飛び込まんとした途端、彼に声がかかった。ふり向くとひとりの老婆が真剣な面もちで懇願している。「私の愛するひとりの息子が重病に倒れ、一刻も早くかけつけ看病してやりたい。しかし橋は流れて帰ることができない。ぜひ私をおぶって川を渡ってもらえないか」。若者は即座に断った。この水では自分ひとりでは生かすことができない。老婆はあきらめない。再三断ったがあまりにも真剣な老婆の心に打たれ、死なばもろ共と承諾した。それから数十分間、それこそ文字どおり悪戦苦闘。ついに九死に一生を得て対岸に泳ぎつくことができた。物語はここで一変して、いままでの一面の荒野は花咲き小鳥は歌う楽園となり、かの老婆はいつの間にか美しいオトメに変わり、ふたりは楽しい旅路を続けた。これはロシアのある作家の小説のあらすじである。▼日本の民話「姥捨山(うばすてやま)」のむすこ老人の悲しきも心暖まる話は、幼いころいろいろ端で聞いて今も妙に忘れられない。しかし今日のはたでナワなう風俗も途絶えて実感もなく、しかも子どもたちはテレビに夢中である。▼高度経済成長、過疎と過密、核家族等の新しいコトバのかげに老齢人口の増加、平均寿命の延長を一体どのよう受けとめるか。九月は敬老の月。この一篇を心ある人に贈る。

(M生)

財政公表

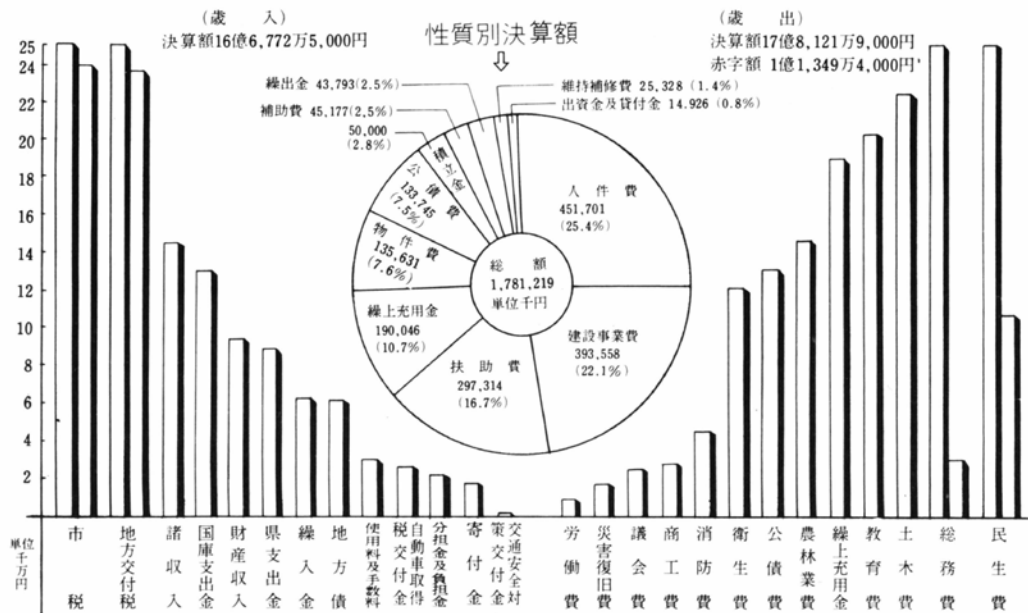
大野市の財政がどのように運用され、また、あなたが納められた税金がどのように使われているかをみなさんに知っていただくために公表します。



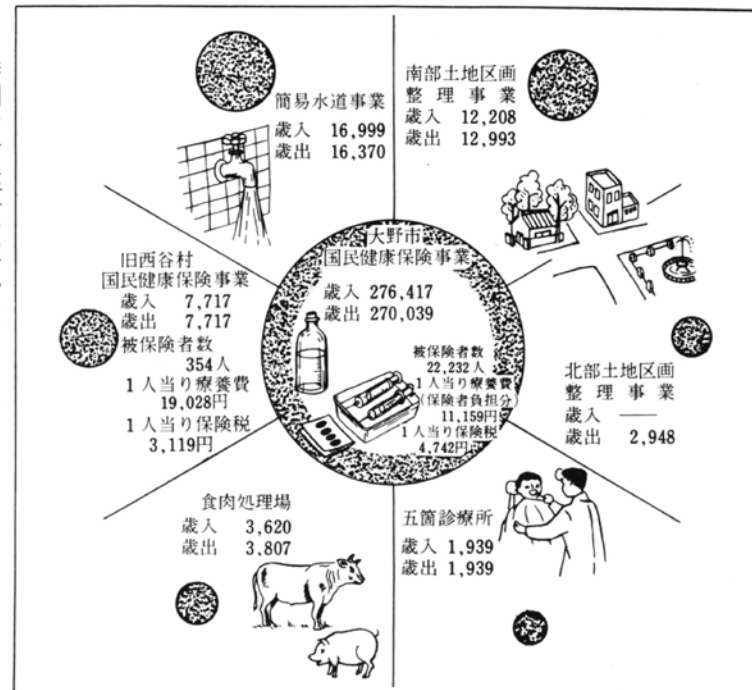
発行
福井県大野市天神町1番1号
大野市役所
電話(代) 6-1111
郵便番号 912
印刷 松浦印刷所

人口 42,888 (住民基本台帳3月末現在)
42,241 (昭和45年国勢調査)
世帯数 10,021 (住民基本台帳3月末現在)
10,092 (昭和45年国勢調査)
面積 541.66平方キロメートル

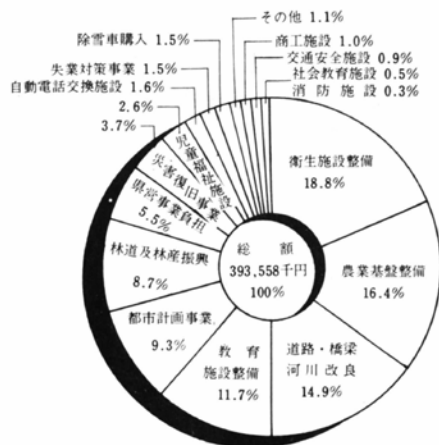
昭和45年度普通会計決算の状況



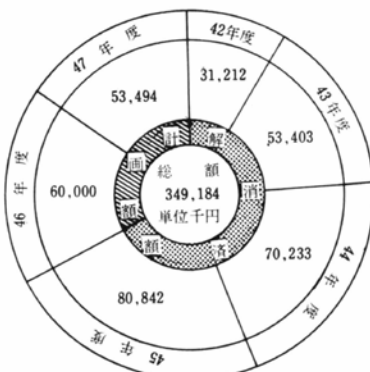
特別会計決算の状況 (単位千円)



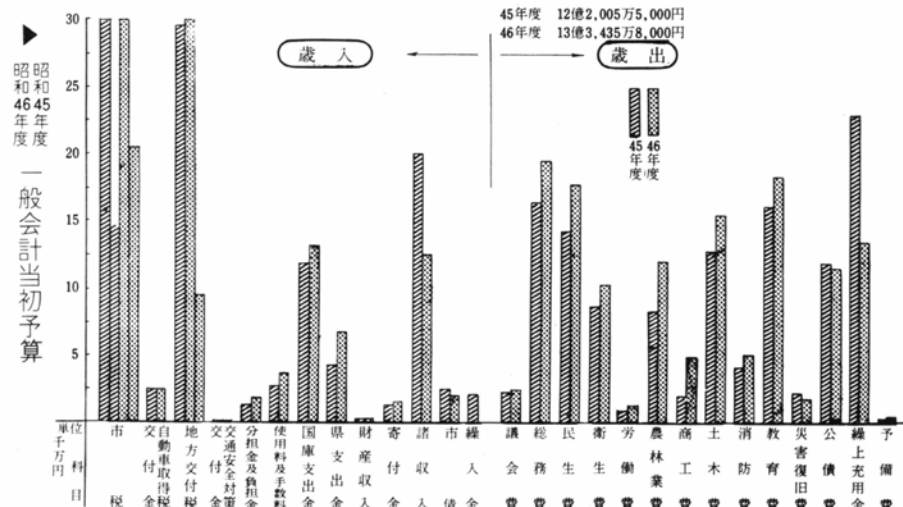
建設事業費の内訳



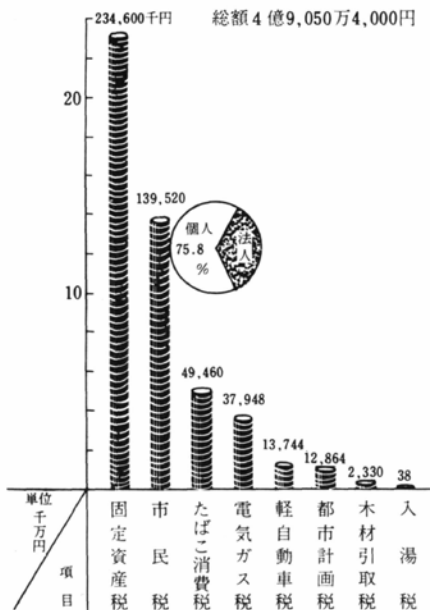
財政再建計画に基づく赤字額の解消状況及び計画額



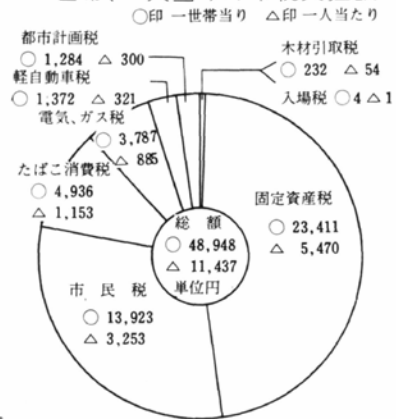
財政再建計画の当初計画では、昭和42年度から49年度までの8カ年計画でしたが、その後毎年安定した経済の進展にさきえられて歳入も順調に伸び、現在では2カ年短縮し、47年度で赤字解消を完了する見込みです。



昭和45年度市税の収入状況

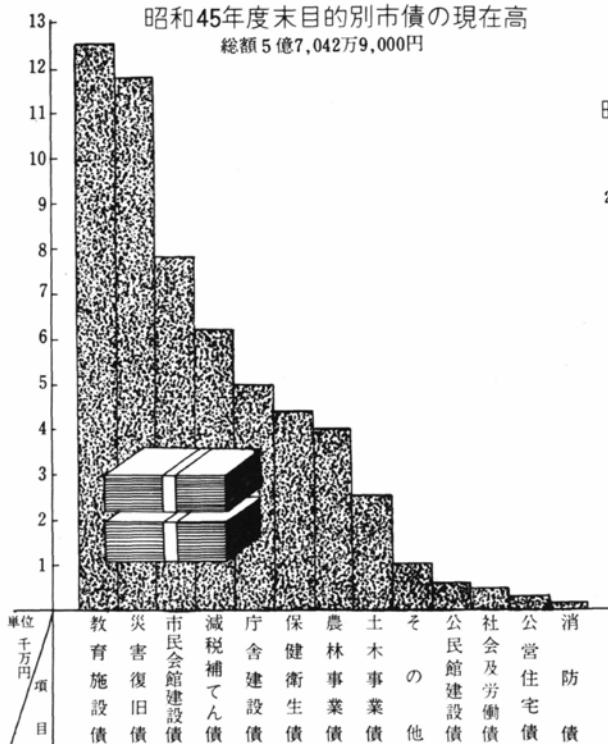


一世帯、一人当たりの市税負担額

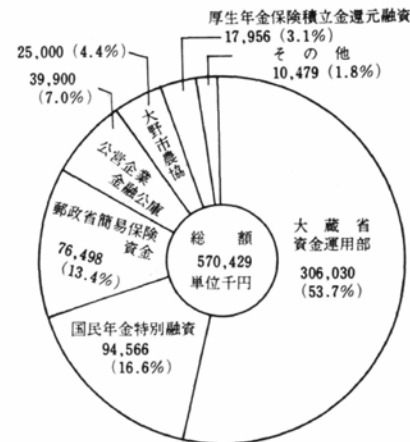


昭和45年度末目的別市債の現在高

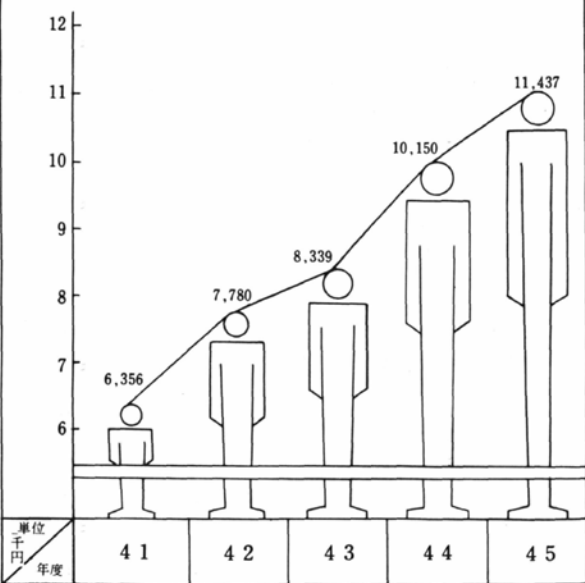
総額 5 億 7,042 万 9,000 円



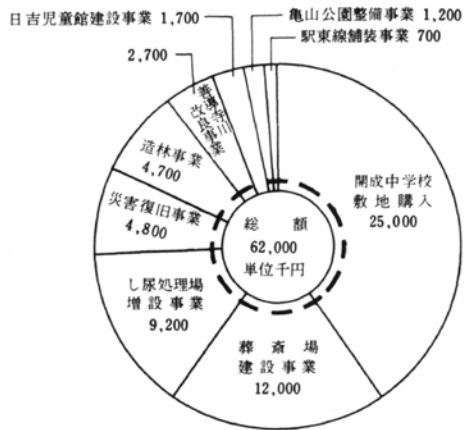
昭和45年度末借入先別市債の現在高



市民一人当たりの市税負担額の推移



昭和45年度市債の借入状況



公 有 財 産 の 状 況 昭和46年 3 月31日現在

建物 延べ面積 87,610m² (26,502坪) 宅地 397,576m² (120,266坪)	山林その他 11,523,778m² (1,152.4ha)	有価証券 266万円
出資金 692万9,000円	基金 財政調整基金 7,507万9,000円 土地開発基金 2,300万円 その他の基金 342万円	自動車 38台 (消防自動車を含む)